

気持ち の爆発



すてきな仲間たちへのメッセージまえがきにかえてー

細川 英雄
ほそかわ ひでお



5人のみなさんと3人の大人たちとの対話的活動実践もようやく終わりに近づきました。

この活動は、いつも初級学習者や学習意欲のない学生には難しいといつも言われています。ところが、皮肉なことに、そういう学習者や学生ほど、一生懸命に参加してくれるのです。なぜなのかな。そういう批判をする大人たちこそ、こういう活動をやった方がいいといつも思います。今回、コロナ禍でのオンライン状況においても、とにかく実践してみようということで、すばらしき仲間たちとともに活動してみて、オンラインの時空を超えたつながりの豊かさを実感することができました。活動はかたちではなく、なにかーこれが、すてきな8人の仲間たちへのメッセージです。

目次

すてきな仲間たちへのメッセージ—まえがきにかえて—
細川英雄

本編

時間の大切さ	3
百合ゆかり	
私は一人じゃない—伝えたい話の私—	8
杉野ルイザ	
自己愛	15
井伊さゆみ	
武道の道	18
河内エリキ	
私の絵	27
河内アンナ	

あとがき

終わりの始まりも全てよし善し。よーしよし！	38
横溝みえ	
心の中に『困難を乗り越える力』がある	39
渡辺久洋	
答えは心の中から「掘って」くる	40
松田真希子	

時間の大切さ

百合ゆかり

自分の興味関心とその理由

私にとって一番大切なことは時間です。人生にほかに大切なことがたくさんあるけど、そのほかに大切なことを楽しむ時間がなかったら意味ないと思います。例えば、自分の一番大切なことは家族と言います。でも家族と一緒に過ごす時間がなかったら意味ないでしょう。

たぶんこの時間の大切さを考え始めたのは今の自粛の間だと思います。今は家から出ることができないので私は前よりインターネットとかソーシャルメディアを使う時間がすごく増えました。

私にとって私の家族はすごく大事だけど、私は家族と一緒に過ごす時間とインターネットをつかっている時間を比べたら、インターネットを使っている時間が多いことを気づきました。

だから私は本当に私の時間を大切にしたいです。なので今から私は時間をもっと大切にしたいです。そのために何をしたらいいと聞いたら、まず自分の優先順位をちゃんと決まらなきゃいけません。そうしたら自分の時間を有意義に過ごすことができます。

時間は戻ってきませんので私は後で後悔しないように時間を使いたいです。

では、私は時間を大切にしたい、その時間に何をしたいかと聞いたら、実は私もまだあまりわかりません。たぶん多くの人はその時間に自分の好きなことをすると言います。でも私の本当に好きなこととか、大好きな趣味とか私はまだ見つけてないです。興味があることがたくさんありますが、その中で本当に好きなこととかわくわくすることがまだみつけない。

だからその時間にはまず自分が本当に心からやりたいことをみつけます。そしてそれを見つけたらその時間を使ってやりたいことをすぐ始めます。

インタビュー

インタビューの相手：寺尾めぐみさん

この人物を選んだ理由：めぐみは私の友達し私より年上だから私とちょっと違う考え方があるかもしれないと思ったからです。

「時間のこと」

私： 私の作文を読んでどう感じましたか。

寺尾めぐみ：わたしはゆかりが書いたことと賛成します。

私： どうして私と賛成しますか。

寺尾めぐみ：ゆかりが言っていることが正しいと思います。時間は本当に大切です。なぜなら時間がなかったら私達がやりたい事をやる事ができないからです。そしてみんなは時間の大切さを今気づいているのは自粛のおかげだと思う。なぜなら自粛の前にみんなはすごく忙しい生活があった、例えば学校の生徒達は自粛の前にブラジル学校に行って、その後日本語学校に行って、そして陸上とか太鼓もあったから、あまり家にとまらなかった。それで急に家から出ることが禁止になって、友達と会うこともできなくなったから今はみんな友達と一緒に過ごす時間とかををもっと大事にしていると思います。

でも時間があると言っても、エネルギー（？）とかやる気がなかったら意味ないと思うけどね。いつかどこかに見たことは、若い頃には時間とエネルギー・やる気があるけどお金がない。そしてエネルギーとお金がある時には時間がない。でお年寄りになった時には時間とお金があるけどエネルギーがない。それを見てちょっと残念だな～、と感じました。だって、人生にはみんなは幼い頃からずっと勉強して、それで大人になってお金をもらうためにたくさん働いていつも何かを追いかけているかんじ、何を追いかけているかわからないままずっと生きて、そしてその追いかけていることを見つかる時に死んでしまう。ちょっと時間を無駄にしているみたい。

自分の考え：時間のことがめぐみはどう考えているのかを聞いてとても良かったと思います。私はそのエネルギーのことを考えてなかった、でそれを聞いた後確かにエネルギーも大事だと気づきました。エネルギーと時間の両方が大事だと思います。例えばある人は金曜日にたくさん働いて、すごく疲れました。で、その次の日は土曜日だから仕事ないし、時間たくさんあります。でも金曜日にその人はたくさん働いて、今はすごく疲れているしエネルギーがないので、土曜日にあった時間を上手に使うことができません。だからエネルギーは時間と同じように大切だと思います。

「時間を大切にする」

私：あなたは時間を大切にしていると思いますか。

寺尾めぐみ：いや、大切にしていない。

私：もしあなたは時間を大切にしていると言ったら、その時間に何をしますか。

寺尾めぐみ：たぶんその時間には運動するとかもっと本を読むとか新しい言語を学ぶとかします。

私：どうしてそういうことをしますか？

寺尾めぐみ：そういうことをするのが好きだから（笑）。まあ～、なぜなら私は運動をする時にたまっているストレスとかがなくなるから。そして本を読むと知識が増えるから。

で新しい言語を学ぶことが大切だと思うからです。

私：時間をもっと大切にしたら、自分の生活はもっと”いい生活”になると思いますか。

寺尾めぐみ：はい、もちろんです。

私：じゃ、その”いい生活”になるために、どうやって時間を大切にしますか。

寺尾めぐみ：たぶん、時間を無駄にしないために毎日、1日にやらなきゃいけないことをちゃんと決めて、でまずそのやらなきゃいけないことをします。そしてそれを習慣になるようにします。

自分の考え：そうだね、時間を大切にするためには自分のやらなきゃいけないことと自分の目的に応じて時間を管理したらいいと思います。それをしたらもっといい生活になると私も思います。なぜなら私たちは時間を大切にしたら、自分の好きなことをすることができるからです。自分の好きなことをすることができない生活には幸せに生きられないと思います。

「後悔する」

私：時間は戻ってきません。でももし時間に戻ることができるとしたら、何か過去のことを変わりますか。

寺尾めぐみ：はい。過去に変わりたいことがいろいろあります。例えば日本に行った時にちょっと変わりたいことがあるとか、もっと速く英語を習い始めれば良かったと思うとかいろいろあります。

私：めぐは後で後悔しないように生きていますか。

寺尾めぐみ：私は後で絶対に後悔します。

私：どうしてそう思いますか。

寺尾めぐみ：私は今やりたい事をやっていないからです。今は他のことやって忙しい、そしてその他のことは将来で私にあまり役に立たないと思います。だから後で後悔します。

自分の考え：私も後悔していることがたくさんあります。でも私はめぐみと違って、私は過去を変わりたくないと思います。過去によくないこととか失敗した時がいっぱいあるけど、その失敗のおかげでいろんなことを学びましたからです。幼い頃私は今よりもっとはずかしがりやでした。そのせいで私は他人の目をすごく気になったのでやりたかったことをやらなかったし、友達を作るのが難しかったです。例えば、私は7才ぐらいの時にある町の公園に行きました。その公園にいろんな子供たちが楽しそうに遊んでいたので私もあの子達と一緒に遊びたかったです。でも私は恥ずかしかったから私は遊ばなかった。その後私はちょっと後悔しましたが、それで学んだことは私は本当にやりたいことがあったら、他の人の考えをかまわなく、やります。

まとめ

私はまた自分が書いた動機文とインタビューを読み直して、今私の考えはちょっと違うと思います。本当に一番大切なことは時間だけなのか、と考えました。実は今考えているのは一番大切なことは時間だけじゃないです。他に時間と同じような大切なことがあると気付きました。例えば、エネルギーは時間と同じように大切だと思います。なぜならその二つのことはお互いに依存していると思うからです。時間があってもエネルギーがなかったら意味ないです。それともエネルギーがあっても時間がなかったらすることがないです。

そして時間は戻ってこないの、後で後悔しないように生きたいです。時間はあっという間に過ごしているので人生の毎秒を楽しみます。

あとがき

この活動をやると決めた時に実は私はあまり楽しみにしていませんでした。私は自分のことがあまり自信ないので最初に私はちょっと怖かったしすごく緊張していたし本当にこの活動をやることのできるかどうかやんでいました。でもこの7週間最後まで行って、私のことを少しだけでももちっと自信を持ってもいいのかな、と感じました。そしてこの活動にあまり考えてなかったトピックを考え始めたのがよかったと思います。「自分の一番大切なことは何」ってあまり考えてなかったです。その質問は私にとってすごく難しい質問だったけど、今はその質問の答えがだいたいわかっていることが本当にいいことだと思います。時間がたつとその質問の答えはたぶん変わると思いま

す。だから後でまたその質問を答えられる時に、この活動のおかげでもっと簡単に答えられるかもしれないです。

それとも新しい友達できてとてもよかったです。いつも最後に私達で話し合っ
とても楽しかったです。この7週間で難しかったこともあったけど本当にいい経験だ
たと思います。ありがとうございました。

私は一人じゃないー伝えたい話の私ー

杉野ルイザ

自分の興味関心とその理由

一番大切なことを考えていましたけど、一つだけは考えなかった。私はゲームとか、アニメと漫画とか本が好きだから、一つだけえらぶのがむずかしいです。でも、それらすべての物語と私の意見もきょうゆうしたいです。

だから、私の一番大切なことは友達におもしろい物語を伝えることです。いつもから本を読むこととアニメを見るのが好きです。でも私の好きなことと友達の好きなことは違うから、私の気持ちは届かなかったとかんじました。友達はアニメのことはそんな興味がなかったら、私はそれについて話しませんでした。それはちょっと寂しかったと思いました。好きな友達に好きなことを話したいと思いました。

日本のゲームをする時、日本語を分からなければならぬと気づいた。あの時、ゼルダの伝説のゲームをした。ゼルダの物語はきれいけど、とてもむずかしいと思います。それから、その話を分かるために日本語学校に入りました。もし、ゼルダの話を好きじゃなかったら、これを書いていないだろう。

日本語学校に入った後、新しい友達をしました。その友達と日本のこととかアニメとか漫画とかゲームを話すことができました。同じな好きなことがたくさんありますから。ブラジル学校で日本が好きな友達もしました。みんなでそれらの意見と気持ちを話すことができます。たとえば、「ワンピース」は仲間たちを大切にするなメッセージがあるから、友達と一緒にそんなシーンの気持ちを話すと意見をきょうゆうします。

去年、「ドクターストン」と「約束のネバーランド」の漫画はブラジルに来ました。その話はとても好きでしたけど、その漫画のことは誰も知りませんでした。それからブラジル学校の友達にその話を伝えました。その後、新しい巻が出た時、いつもそのことを話しました。とても楽しかった。「私は一人じゃない」の気持ちをかんじました。時々インターネットの友達とそのことを話しましたが、私のことを知る人と話すのはもっと楽しいと思います。

日本語学校は私の人生を変った。それのおかげたくさん友達をしましたとももちろん日本語を分かりました。その後、アニメと漫画のことがもっと好きでした。日本の文化と日本語をもっと知りました。友達と好きなことを話すことができるのはとても大事なことと思います。その人達は自分のことと違うから、自分も変わりますと思う。それから、もっと話を分かると友達にきょうゆうするために日本語の勉強を頑張ります。そうすれば、私はとても良い人になることができると思います。

インタビュー

インタビューの相手：日本語の先生

その理由：いつも家族にポルトガル語で話しますから、日本語で話すのが変だと思いません。だからいつも先生と日本語を話します。

「作文のコメント」

私: 作文を聞く後どう思いますか？

先生: 興味があることや、好きなことが同じ友だちと話すことはとても楽しいですね。

私も大学のときに同じコーラス部だった友だちとは、今でもこうりゅうがあります。

このような友だちは、これからも大切にしてください。

いっしょの友だちになれると思います。

私: 私もいっしょの友達になれると思う。先生はコーラス部にさんかした？知らなかった～。楽しかったですか？いつも何をしていましたか？

先生: 私がしていたのはこんせいがっしょうぶです（男性と女性で歌います）。大学のじゅぎょうのあと週に3回、2時間ぐらい練習をしていました。夏休みには、12月の演奏会のための練習をするがっしゅくが1週間ぐらいありました。朝はランニングとたいそうから始まって、朝食、練習、昼食、練習、夕食、練習というスケジュールでした。寝る時間を過ぎても友だちと話をし、午前3時ぐらいまで起きていました。最後の日にはピクニックやキャンプファイヤーもしました。

12月の演奏会は、みんなで一つの音楽を作り上げた！と心がつながった思いがしてかんどうしました。

大学の4年間、コーラス部の友だちとは同じけいけんをしたので、そつぎょうから40年以上たった今でもつながりが強いのです。

私: 楽しそうですね～。今でもみんなの心がつながるのは良かったですね～。

自分の考え: この話のあと、日本語学校のキャンプを思い出した。2日間学校で止まって、色々なかつどうしたり、私達のご飯をつくったりしました。今キャンプはもうしませんけれど、その2日間には私達の心はつながるとかんじました。とても楽しかったです。もう一回日本語学校のキャンプがほしい～。

「一番好きな友達」

私: 一番大好きな友達がありますか？その友達に好きなことを話しますか？

先生: はい、います。とくに子どものことについてよく話します。

私: その友達はどうな人ですか？

先生: その友達は13さいからの友達です。そのころは一緒にしゅくだいをしたり、テストの勉強をしたりしました。彼女の家にとまりに行ったり、彼女がうちにとまりに来たりもしました。

私: 彼女は今も日本で住んでいますか？

先生: 彼女はけっこんしたあと、ごしゅじんとイギリスに住んでいました。私がブラジルに来た後も、よく手紙を書いていました。外国でくらすことのむずかしさについて、色々と話しました。彼女のむすめさんが15さいでイギリスにりゅうがくし、私のむすめも17さいで日本の高校にりゅうがくしたので、よくむすめのことについて話しました。

外国で子どもがくらしている親の気持ちをりかいしてくれるので、うれしいからです。

げんざい、彼女のむすめさんはイギリス人とけっこんしてイギリスに住んでいます。私のむすめも日本人とけっこんして日本に住んでいるので、今もきょうつうのわだいがあります。私が日本へ行ったときはかならず会います。

私: 合うときは何をしますか？話すとか、どこかでさんぽとか？

先生: 彼女は私の親の家の近くに住んでいるので、いつも車でむかえに来てくれます。

会えるのはたいてい夜で、ファミリーレストランでお茶とケーキを食べながら話します。むすめの話をするのが多いですが、2年前に会った時はまごの話がちゅうしんでした。

自分の考え: 高校の一年の時私は大好きな友達がありました。色々なことを話すことができました。今その友達は他の町に住んでいます。Whatsappでたくさん話しますが私は他の友達がいると彼女は私が知らない友達もいます。でも今まで好きなことを話すことができます。私の人生にこのような人がいることをうれしいです。

「好きな話」

私: 一番好きな話ありますか？

先生: はい、あります。『最後の一葉（さいごのひとは）』という本です。

（「The Last Leaf」 is a short story by O. Henry published in 1907）

私: その話はどんな話ですか？覚えていますか？どうしてその話を好きですか？

先生: この本は50年前に読んだので、どんなお話だったかよく覚えていません。でも、そのころあぶらえを描いていたので、絵で人の命をたすけることができること、自分の命をなげうってでも、だれかのために何かをすることのすばらしさにかんどうしたことだけは覚えています。

もし良かったら、見てください。

私: きれいな話のようですね。後で見ます。

自分の考え: 先生の好きな話を見るあと、悲しいな話と思います。となりのたてもののかべに最後に見た葉が落ちたら死ぬと思っている病気の女の子の話です。でもきれいな話です。私は一番好きな話がありません。色々な話が好きだから。でも一番好きな話をさがしますと思う。

「一人じゃない」

私: 私は一人じゃないの気持ちをかんじましたか? どうして家族と一緒にそれを感じますか? いつもそれをかんじました? 後で気づいた?

先生: 家族と一緒にいるときは、「私は一人じゃない」と思います。

私: どうして家族と一緒にそれを感じますか? いつもそれをかんじました? 後で気づいた?

先生: 30年ぐらい前のことですが、すうねんかん、しゅじんの両親と一緒に住んでいました。その時はむすめをふくめて7人でくらしていましたが、私はしゅじんの両親とのかんけいがうまくいっていませんでしたので、「私は一人だ」と感じてさびしかったです。家族と一緒にくらしていても、かんけいがうまくいっていない場合はさびしさを感じるものだということがそのときに分かりました。

今はしゅじん、さんじょ、まごの4人でくらしています。ちょうじょとじじょは日本にいてはなれていますが、私たちはソフトボールでつながっています。いつもソフトボールのれんしゅうのこと、試合のこと、日本の試合のことを話します。ぜんいんが「好きなこと」が同じなので、家族のつながりが太いと思います。この家族の中にいると、「私は一人じゃない」と思うのです。

私: 大変でしたね。でもソフトボールがあったら良かった～。

自分の考え: 先生は一人じゃないの気持ちをかんじませんのは良かった～。私も友達と家族と一緒に一人じゃないと思います。でも私と友達が一番つながっていることはない。できればいつか私達がつながることをあつたら良かった。

まとめ

友達に好きなことを話すできるのはとても大事なことと思います。それから私も彼らはいっしょの友達になれると思います。好きなことだけじゃないでも何も話することができるから。両親と一緒に住んでいますからどんな時も話することができます。友達と一緒に時間はみじかいからそれは大切だと思います。今、家族と話す時間と友達と話す時間ももっと大切にします。

じいちゃんと話すあと、もっと日本語の勉強を頑張ります。じいちゃんは私がこのような作文を書くのができるのは知りませんでした。「これはむずかしいですね。よくできました」と言いました。私はうれしかったです。

あとがき

みえ先生は急に私に「おもしろい日本語の先生と勉強したい？」のメッセージをおくりました。それはこの活動を見つけた方法です。最初はさんかするのはほしくなかった。でもこの活動はただだから、両親は「もし好きじゃなかったら、やめるのは大丈夫ですよ」と言いました。そのあと、私はやって見たいと思いました。

この1か月半の活動中には「なぜ私はこれをしているのですか？」と思いました。実は勉強をしようと思ったけど、作文のことだけしました。でも作文を3回書いたあと、その書き方を分かりましたと思います。大変でしたけど、おもしろかったです。今からもっとくだけてきな作文を書きますと思う。

最初は私はすごっくきんちょうした。みんなと同じと気づいた（笑う）。でも活動のことを話すあと、私達の心を近づきましたと思う。みんなと一緒に話す時間はとても楽しかったです。母は「楽しかったですか？ルイザの笑えを聞きました。」と言いました。活動を終わるあと母に話しました。とても楽しかった。

それからこの活動にさんかあと、私のことと作文の書き方ももっと分かりました。新しい友達もできました。私はこのけいけんをしたことにかんしゃしています。本当にありがとうございます。

魚己魚



井伊さゆみ

自己愛

井伊さゆみ

自分の興味関心とその理由

私にとって一番大切なことは、まず、自分を愛することです。周りの人をあんまり好きではない時、近づかないや遠くへ行けばいいです。でもその嫌い気持ちが自分に対する気持ちだったら、どうすればいい？他の場所へ行ってもまだ嫌い自分ではないか？

私は自分の姿を好きだけど、「愛する。」、と言うにはたどりつきませんでした。それは、まだ他の人に頭を下げる時も何度もあるし、「私は最低人だ!」、と思う時もたくさんあります。それだけではありません。私の体も嫌い時もあります。毎日私の姿を鏡に見ていて「もっとやせないといけません!」、「変な体がある。」、と思います。

私が「自分をもっと愛する。」、と決めたのは、去年でした。去年に、私の仲間達は私の悪い事や私のうわさを言っていたと知ってしまいました。例えば、「さゆみはこんな人だ。」、「さゆみはこんな事を言った。」、とかつてに決めつけました。でも、「そんな人じゃない!」「そんなことを絶対に言ってない!」、と分かっていたはずなのに、そのことは何回も、何回も思い出し続けて、本当に辛かったです。

だから私にとって一番大切なことは自分を愛することなのです。なぜかと言うと、自分を愛することは、人の悪い目や悪いコメントを気にしなくさせて、そして、自分を愛し始めるのは自分が成長をしているのも分かります。それに、もっと幸せな生活を過ごせると、私は思います。

インタビュー

自分をもっと愛してね。(^ω^)

私の考え方はえいかと似ていますから。

「人を愛する」

私: 自分を愛することと、人を愛することは、どちらがう？

井伊えいか: じゃあ、自分は人ではないってこと？でも、なんて言うか、他の人を愛することはもっと簡単です。なぜならば、他の人とは生活する時に、意見とか、性格とか、全部見てる？それに対して同意するかどうか決める、でもそれが自分だったら自分を愛することはもっと難しいプロセスだと思います。まず、体について、私が思うのは、自分の体や顔を見たしゅんかん「変わりたい!」、と言う気持ちがうみだすけど、変わるまで、不安な気持ちがいっぱいだと思います。それに「あきらめたい。」、気持ちも多いです。それが他の人だったら別に気にしない。

私: 「他者を愛すること」も重要ではないか？どう思う？

井伊えいか: はい、もちろん重要だと思います。なぜなら、私達、人間は社会という組織の一メンバーです。だからいい環境で暮らすため、愛というものは重要なのです。

自分の考え: そう思います。でも私だったら、人を愛する(自分を愛する/他者を愛する)、のは難しいことなのです。私の友達に簡単に、それに誰でもへ「愛しているよ。」、と言いますが、私がそれを言うのはものすごく難しいです。本当に難しく母とか父とかに言ったことがないと思います。(私の犬だけに言います。)

「自由でいたい人」

私: 人は誰でも、自分は自由でいたいと思うもの(自分のことは自分で決めたい)だから、他の人も自分と同じ自由がなければならぬ。そのことをどう考える？

井伊えいか: 自分が自由でいたいことは他の人に何も問題かからないと私は思います。逆に、もし、みんながその「自由。」でいたい気持ちを持っていたら、他の人に悪いコメントとか、傷つくことをさせてくると思う、で、もしそれが他の人に対して悪い程度とかをあらわしてくる場合は、私にとって自由ではなくなる。

私：あなたは自由でいたいですか？

井伊えいか：はい。

自分の考え：えいかと言ったことと同意します。自由な人は他に迷惑させない、悪いコメントをしないと言うこと。だから私は早く自由でいたいです。

「自分を愛する」

私：あなたにとって自己愛はなんですか？

井伊えいか：自己愛は自分に対しての愛。でもそれは急にできるものではなく、一歩、一歩進んでいくプロセスなんです。それに、毎日100%自分のことを「好きだ」ではないです。自分のいやな部分をうけとめることや「大丈夫だ。」と思うことが自己愛ではないかと私は思う。

私：あなたは自分を愛していますか？

井伊えいか：その道の途中です。

自分の考え：私は自分を愛していないからえいかと同じに「自分を愛する」、と頑張っています。

「悪いコメント」

私：あなたは他の人から悪いコメントを言われたエピソードがありましたか？ どうだった？

井伊えいか：はい。まあ一色んなエピソードがあったけど、その中の一つを選ぶとしたら「あまり他の人と話せません。」、ということ。でも、幼い時には今よりずっと人見知りがありました。だからあの時はまわりの人達からいつも「君静かな人だな。」、と言われていました。だからそれがネガティブな事だと思いはじめました。その結果「もっと話せばいいのかしら。」、と思って少しずつ変わるようにしました。今、他の人からまた同じ事を言われたら、ちょっと傷つきます。なぜなら変わったはずなのに、まだそういうことをたまに聞きます。

私：あなたに悪いコメントをした人のことをどう思いますか？

井伊えいか：その悪いコメントがもしも私の弱点だったらすごく傷ついて、たぶんその人と離れてしまうか、長い間その人と普通に話せることが出来ません。でも、もし、そのコメントが別に私が気になるとではないとしたら、私は気にしません。

自分の考え: えいかの気持ちを本当に知っています。なぜかと言うと、私はえいかより静かな人だから。幼い頃には私はしゃべってばかりいた子でした。ある日、私は幼い頃に勉強をした学校に通い始めると知って、仲間の同じ暮らすに勉強をし始めることも知りました。そのせいで私は仲間に聞きました。「昔の友達は私が学校に戻ると知って何を言ったの?」、「私は彼らに「さゆみがここに戻るのが嬉しい人は」、と聞いたけど、誰も手をあげなかった。」。そのことを知ってから「なぜ私のことを好きじゃないか」、と疑って私がしゃべっていたばかりのせいと思って、学校を通い始めたから誰とも話しませんでした。ものすごく話したかったけど、私が私の声を聞いたら恥ずかしかったのです。年がかかって「私は静かな人だ」、となれてきました。でも「友達がない、寂しい人だ」、と他の人が私がそんな人だと思いたくはなかったのです。「もっと話す子になります。」、と決めて、もっと話せるようになりました。だから他の人から「静かな人だなあ」、と言われたら本当に傷つけます。

全体のまとめ

えいかが答えたことと同意します。本当は、私が尋ねたことの答えを分からなかったからえいかに聞きました、そして全部答えた質問を聞いて「なるほど。」、と思いました。なぜなら、私はそんな答えを絶対に考えるわけではなかったからです。

私の作文とインタビューを読んでから「自己愛は何だろう」と言うことがわかりやすくなりました。前には「自己愛、と言うことは何ですか。」、と聞いたら早く答えることが出来ませんでした。でも今は違います。自己愛は自分をもっと大切にすることです。自分をもっと知ることです。それに自分をもっと好きになることです。

あとがき

この7週間、色々な気持ちを感じできて、前に気づいていなかったことを、今、気づきました。この活動の初めは緊張してばかりして、冷たい汗をかいたりして、話す時には体がかってに震えて、大変でした。二回目のインタビューには、ほそかわ先生は「悪いコメントを言われたエピソード」、をきいて、私は友の話をしていた時に泣いてしまいました。そして友がしたことは私を本当に傷ついたので気づきました。泣いた後には、すごく恥ずかしくなりました。

色々なインタビューをしてきて、今はもっと日本語で話せるようになって、インタビューの最初と違って、あんまり緊張をもうしません。それに、自分の気持ちを皆に伝う時は、恥ずかしくありません。

武道の道

河内エリキ

自分の興味関心とその理由

私は、一番大切なことは武道だと思います。子供の頃から柔道を練習していました。いろいろなこと学んだ、例えば、あきらめない気持とか、しつけとか、上の人に対して尊敬することはだいじなことです。それらは今でも僕の大事な気持ちです。この道は簡単ではありませんでした。勝つために私は負けることも学ぶ必要がありました。あきらめようと何度も何度も考えました。でも、先輩たちは、将来役に立つからがんばってとよくいってくれました。でも、彼らのすべてのサポートがあっても、私はあきらめました。重要な大会に負けました、その時、ガッカリしてしまい、前に進む気をなくしました。

数年がたちました。私は武道について考えるのをやめませんでした。でも、ある日、私の友達が戦うモチベーションを与えた。そのモチベーションはただ楽しむことでした。この考え方、忘れていました、勝利だけに夢中になっていました。これに加えて、体を動かしたいと思って、だから今年テコンドー習い始めました。スタイルは全然違う、私たちは敵から遠ざかります、キックとパンチを使用します。しつけとか、先輩たちへの尊敬もあります。もちろん戦うつもりです。でも、長い道があります。僕の目標はブラジルのチームに参加し、海外の大会で私の国を代表することです。そのためには、毎日、練習しています。先生がサポーターをしてくれています。

いつか私は他の人に学ぶことすべてを教えられるようになりたいです。人を少し変えることができると思います。この道は簡単じゃないでも、将来、だれかの役に立つことができれば、うれしいです。

これらすべての経験が私をより良い人に導いたと信じています。つまり、武道は私の人生の本質であり、すべての始まりです。

インタビュー

インタビュー①

インタビューの相手：河内

この人物を選んだ理由：私に日本語を教えてくれた人です

柔道を習っていた時

僕： 僕が書いたことをどう思いますか。

先生： 小さい頃から柔道を習っていたんだね。習っていたとき、なにがいちばんつらかった？

僕： 試合に負けた時、悔しかった。

先生： 何が一番大変だった？

僕： 毎日5時間の練習は大変だった。いつも疲れて、家に帰った。

先生： どうして柔道をやめてしまったの？

僕： 大切な大会に負けて、くやしくて、その上、柔道の先生に怒られてしまった。それから、やる気が出なくなった。だんだん、練習に行かなくなり、とうとうやめてしまった。

先生： やめてしまっって、両親は何か言った？

僕： 両親は柔道を続けるように強く言ったが、やめる決心が強かったので、両親から言われても、柔道を練習しなかった。

新しい道

先生： テコンドーはどうやって始めたの？

僕： 友達からバストスでテコンドーが練習できると知って、興味をもった。

また戦いたい気持ちが芽生えて、テコンドーを習い始めた。

先生： テコンドーはどうですか。

僕： 楽しいです。 帯の色が緑になった。嬉しかった。茶色か黒帯になるまで、がんばりたいと思う。

武道の影響

先生： 今までの経験はどんな影響（えいきょう）がある？今の生活とどういう関係がある？武道の影響はなに？

僕： 一番の柱はぼくのキャラを作りました。

先生： ぼくのキャラってどんなキャラ？

僕： 毎日、練習すること。フレキシビリティな体を作ることは大事なことです。足を完全に広げて、テコンドーの試合で相手に強いキックするためです。

先生：今、一番興味があることはテコンドー？テコンドーの何が好き？

僕： テコンドーの練習からたくさん友だちができた、新しい経験を学んだ。

柔道を5歳から習い始めて、7年間習いました。人に負けないためにはたくさん練習することが大事だとわかりました。でも、モチベーションを続けることは大変です。あきらめることは簡単だけど、自分に負けた気持ちは悲しいです。

テコンドーは今年の2月から習っています。その時間はとても大切な時間だと思います。新しい道を歩み始めて、僕をよりよい人にするためにせいっぱいがんばろうと思っています。

インタビュー②

インタビューの相手：横溝みえ先生

この人物を選んだ理由：去年、みえ先生に会って、話したことがあります。そして、連絡するのが簡単でした。

柔術

先生：テコンドーはなくなちゃたら、どうする？

僕： たぶん。。。柔術かな

先生： 日本に私のおじさんが柔術アカデミーあるから、そして彼がブラジルに来たとき、きものをおいていた。それで、おじさんのきものをとった。きものもあるから、練習してみたい。

先生： え、 そのおじさん柔術やってるの？

僕： はい、 かれは柔術の先生

テコンド

先生： 柔道とテコンドーと柔術はあまり変わらない？

僕： 変わる。 柔道と柔術はにってるけど、 テコンドーは連絡がない、禁止だから。 私はキックとパンチ使う。

先生： テコンドーの戦いでは、勝者がどのように決定される？

僕： ポイントがある。 たとえば、 ヘッドキックは4ポイントです。すでに腹のキックは2ポイントです。 勝者には最も得点の高い人。

先生： あなたは戦いで何を使いますか

僕： 手と足。 でも、手はあまり使えません、届かないから。



コメント： テコンドーは、すべての武道と同様に、困難もあります。最初は調整が足りなかったのが私迷ってた、辛かったでもとても楽しかったです。

練習からほぼ1年後、私は最初から大きな変化に気づき、新しい友達を作り、健康な日々と新しい人生の目標を持ちました。

柔道

先生： 柔道をやってて、よかった？

僕： はい、 よかったです。 私のキャラつくったから。

先生： どんなキャラ？

僕： 二重の性格を持つ人、 戦う時はすごく暴力なひと。でも、 日常で静かで忍耐、強い人、たぶん。

先生： ええ、なるほど。 どっちも好き？ どっちも嫌い？

僕： どっちでも好き。

先生： 試合に負けた時、悔しかった？

僕： はい、 すごく悔しかった。 大事な大会だったから。

先生： どんな大切な大会だったの。

僕： もし私がその大会に勝っていたら、私はブラジルの代表の一員としてを争うことができていました。

先生： 柔道の先生に怒られた？

僕： うん、怒られた。私はへこんで、やる気をなくしちゃた。

先生： またやる気出ない？ 柔道のこと。

僕： やる気があるけど、 先生がこわいから、 ここの柔道に二度と入れない。
たぶん大学の町。

先生： その大学、柔道とテコンドー関係ある？

僕： 関係ない、 趣味だから。

先生： その武道はずっと続けるつもり？

僕： はい、黒おびになるまで。

先生： なぜですか。

僕： カッコいいから。

先生： 誰かに見せたい？

僕： 私の両親。

先生： もし茶色おびにとまったら、 ずっとつづける？

僕： はい、 ずっとつづける、黒おびになるまで。

先生： 黒なったらどうするの？

僕： 先生になる、たぶん。

先生： テコンドーと柔術も？

僕： はい。

先生： どうして？

僕： 受け取ったすべての知識を伝えたい。

コメント：

練習が長くて繰り返しだったので、すぐに疲れました。練習、練習しましたが、しばらくすると勝てなくなりました。誰もがやめないように言っていたのに、私は落胆してあきらめました。今はそれが恋しくてまた学びたいですが、近い将来かもしれません。

みえ先生と話しながら、私は将来、何をしたいのかを理解しました、たとえば武道を教える。

料理

先生： 武道も教えて、料理もするの？

僕： はい、両方する。

先生： 料理をすることと世界の人を愛することは関係ある？

僕： あまり関係ないと思う。

先生： 今も料理する？毎日

僕： 時々料理する。私は注文がある時に料理します。でも、毎日ではありません。
たとえば、今日、私の叔母さんにチーズケーキをつくった。

先生：なぜ叔母さん？

僕： 私のお母さんは叔母さんの誕生日にプレゼントするために頼みました。

先生：お父さんの兄弟？お父さんの兄弟？

僕： お母さんの姉。

先生： バストスに住んでいるの？

僕： はい、バストスにすんでいます。

先生： ケーキのほかに何を作る？

僕： 私はたくさんのレシピを知っている。でも、チーズケーキのほかにシュークリームとティラミスとパンとほとんどのパイとプリンは私はいまうまくできます。

先生：エリキの家族は嬉しい？ 友達にも料理する？

僕：はい、 家族はとても喜んでくれます。でも、友達にはあまり料理をしません。ちょっと恥ずかしい。だから、友だちのほとんどは私が料理することを知らない。味がおいしくないと思ったら、悲しいです。たまに、友だちに作ったことがあるけど、あまり食べてくれてなかった。その時、悲しかったです。

友だちは私が武道をしていることに僕を怖いと思われたことがある。

友だちとけんかしていないけど、ある日、とても怒ったことがあります。その時、武道をしていると言ったら、友達は私をこわいと思った。

先生：エリキは何に怒ったの？

僕：その時、野球の試合に負けてしまって、いらいらしてしまった。でも、けんかはしなかった。武道では試合じゃないところで戦ったら、だめです。

それは、世界を愛する人の前に起きたこと？

僕：そう、その前だった。

先生：今、そんなことが起きたら、どうする？

僕：今は何もしない。聖書にそう書いてあるから。

先生：今はその友だちと仲がいい？

僕：ううん、野球の友だちとはあまりしゃべらない。仲がよくない。もう野球をやめてしまったから。足を傷してから、野球をやめてしまった。

先生：料理をすることは自慢じゃない？

僕：あまり自慢じゃない。僕の料理をほとんど食べてくれなくて、恥をしてしまった。だから友達にだまっている。

先生：今、何が一番大事ですか。

僕：家族です。サポートしてくれて、愛していますから。教育もしてくれています。

コメント：子供の頃から料理がとても大好きです。昔はパティシエールになりたいなと思っていました。お菓子を作ることは好きです。でも、キッチンで働く普通の料理もいいと思います。

この数年間、私は練習をしていて、なんとかおいしいことをすることができます。

食べ物を通して私の幸せを分かち合うことができるというアイデアは本当に楽しいです。今日、私はあまり料理をしません。だれかのためにあまり料理をしません。その趣味は決して消えません。今日、私は自分のコミットメントのためにあまり料理をしません。その趣味は決して消えません。私が料理をする機会があるときはいつでも、私はすべての献身でそれをします。

みえ先生に質問

僕：どうして先生はブラジルに来ましたか。

先生：理由はたくさんあります。日本は大好きだけど、小さい時から、私が生きていくところは日本じゃないと知っていました。日本はすべてのことがきちんとしているよね。たとえば4月にはこれを勉強すると決まっている。でも、ブラジルではちがってくる。決まっていることから、自分の考えていることから超えることが好きです。南米に来て、ブラジル人に出会って、おもしろい人たちだなあと思った。

僕：自由な人たちばかりだなあと思った？

先生：ブラジル人は自由な人だけど、責任のある人だと思う。よく人のことに興味があるよね。最初に来た時は青年ボランティアで来た。その時は南米のどの国とは選ばれなかったけど、ちょうどブラジルに来た。そこで、ブラジルに来て、ここがわたしの居場所と思った。楽しいです。ブラジル人はたくさんいるけど、日本人は少ないから、もし、わたしが何かをすることに日本に比べるとブラジルの方がすごい価値がある。かえってくるのが大きいと思う。だからおもしろいです。エリキは外国でどこに行きたい？

僕：日本に行きたい。和食を食べたい。毎日、色々な研究をしたいです。

結論・まとめ

今日、私は武道が私の人生を変えたこと、そして私がすべてを彼らに負っていることを知っています。彼らは私を教育し、心と体の両方で強くなるように教えてくれました。彼らは私の個性を構築し、私の人生の方向性を決定するので、それらは重要です。練習するのは本当に楽しいですが、それについてはもっと深いことがあります。いつの日か、他の人に教えて、武道の知識を伝えたいと思います。もちろん、私はそれについて専門的に話すのではなく、義務として話します。私はまだ台所で働きたいので、武道とは関係がありません。しかし、私は私の人生の方向に応じてこれを決定します。いいファイターになれば、仕事に頼らずに生計を立てられるかもしれません。これは、私のような人（頭をあまりよく使わない人）が良い生活を送るための最良の方法の1つです。今日、そのための多くの機会があります。だから、いま、僕の目標は訓練することです。専門的に使わなくても、もっといい人になれると信じています。

あとがき

最初は会議の目的がわかりませんでした。今ではその本当の目標がわかります。

お母さんは毎日、言いました 「この経験はあなたを良くする、だから、全部早くやって」。

もちろん大変な作業でしたが、将来何をしたいのか、そして新しい目標をもっと頻繁に考え直すことを学びました。

過去を見ると、自分の姿や人生の変化に気づきました。とっってもびっくりした。

私は自分の欲望と理想をもっと大切にすることを学びました。

その上、私は新しい友達を作り、たくさん話し、たくさん笑いました、そして私は彼らと話し続けたいです。話を聞いて、それぞれの最も重要なことはとても特別で楽しいことでした。本当にありがとうございました。

私の絵

河内アンナ

自分の興味・関心とその理由

わたしはえをかくことが好きです。リアリストとか、こわい人物をかくのが好きです。

AS MINHAS OBRAS DE ARTE

O começo

Quando eu era mais nova, eu gostava muito de desenhar, por esse motivo pratiquei desenho por durante 6 anos, porém tudo isso tinha virado apenas um hobby comum para mim. Nesse ano e comecei a me dedicar mais a arte pois comecei a me inspirar mais e querer melhorar a minha pintura, traço e também quando eu começar a trabalhar futuramente, pois eu vi que eu já tinha muita experiência e isso é muito bom, então eu sou muito grata por não ter praticado desenho em todos esses anos em vão, pois isso me fez enxergar uma oportunidade muito grande em minhas mãos.

私の作品

はじまり

小さい時から絵を描くのが好きだったので、6年間絵を描く練習をしましたので、趣味になりました。今年から、アートにもっと熱心に絵を描くようになりました。インスピレーションを得て、絵やラインを改善したいと思ったからです。また、将来、仕事を始めるときも、すでに多くの経験があり、これはとても良いことだと思ったので、何年にもわたって練習したことにとっても感謝しています。これは将来のために非常に大きな機会を与えてくれました。

Inspirações

Eu sempre me inspirei em vários artistas durante a produção de minhas obras, uma delas foi Monet, eu sempre admirei suas obras de artes pois ele não fazia apenas por paixão, ele fazia para estudar o ambiente, espaço e iluminação, onde podemos chamar isso de

Impressionismo. Não foi apenas o Monet que me inspirou como também Stephen King, eu tenho uma grande paixão pela as suas histórias pois foram elas que me inspiram durante a produção de uma história de terror.

インスピレーション

私は作品の制作中に常にいくつかのアーティストに刺激されました。その1人はモネチでした。彼は情熱だけで絵を描かず、常にイルミネーション、景色、スペースを気にしながら、作品を完成しました。私にインスピレーションを与えたのはモネチだけでなく、小説家のスティーブンキングです。彼のホラーストーリーにインスピレーションして、私自身のホラーストーリーや絵を描くことが多いです。

O terror para mim é algo que eu gosto muito, pois é um gênero em que eu consigo ter muita ideia na criação de personagens, histórias, e por aí vai. Eu gosto bastante de terror pois ele te toda uma estrutura e que eu consigo mexer mais com o realismo, quando digo realismo digo e deixar as minhas pinturas mais reais e amedrontadoras, esses são alguns dos motivos de e gostar mais desse gênero do que outros, pois em minha humilde opinião, a maioria dos gêneros não tem uma história tão empolgante, é óbvio que o terror também tem muita coisa que eu não possa curtir, mas ele ainda irá a continuar a ser um dos meus gêneros favoritos.

私にとって、ホラーは、キャラクターやストーリーなどの制作は多くのアイデアをもたせるジャンルなので、とても好きです。ホラーは全体の構造があり、リアリズムでもっと描くことができるので、私はホラーがとても好きです。リアリズムでは自分の絵画をよりリアルで恐ろしいものにするので、これらが他のジャンルよりもこのジャンルが好きな理由の一部です。私の控えめな意見では、ほとんどのジャンルにはそれほどエキサイティングなストーリーがないので、ホラーのほうがもっと楽しめるものがたくさんあると思います。それで、私のお気に入りのジャンルの1つであり、これからもホラーを好むことは明らかです。

Mostrando uma de minhas obras

私の作品の1つを紹介します。

Agora, irei mostrar uma de minhas obras prediletas feitas recentemente por mim.

私が最近作った私の好きな作品です。



Essa obra foi feita como um desenho para um artista em que eu tenho intimidade e amo suas obras. Esse desenho levou três dias para ser finalizado pois eu estava corrigindo tudo o que estava me incomodando no desenho, como o nariz, as dobras da roupa e mexer com as cores, foram os que eu mais levei tempo para arrumar, pois eu queria algo que iria satisfazer ele e eu também. Tirando essa parte onde tive que consertar algumas coisas vamos falar sobre o que eu mais gostei da obra depois de finalizado.

Eu gostei bastante da pintura pois ela deixou um tom realístico, a anatomia do corpo do personagem, como a simetria dos ombros, e a estrutura do tronco não estar nada exagerado ou desproporcional, um dos locais da pintura que eu mais gostei foi a do rosto, pois o rosto foi o que eu levei mais tempo para arrumar, pois eu queria deixar tudo proporcional. Eu tenho eu confessar que eu me preocupo bastante com a estética do personagem pois para mim é o que mais me importo, igualmente a pintura, eu me importo bastante com os dois pois são eles que vão me ajudar a me mostrar no que eu posso melhorar e estudar, por isso que eu acho que são bastante importantes.

この作品は私が大好きなアーティストのために作られました。この図面は、鼻、服の折り目、色の変更など、デザインで私を悩ませていたすべてを修正していたため、完了するまでに3日間かかりました。修正に最も時間がかかったのは、それも彼と私を満足させるでしょう。修正が必要だった部分は別として、作業が終わってから一番気に入った点についてお話しします。

リアルな色調、肩の対称性などのキャラクターの体の解剖学、そして胴体の構造がまったく誇張されたり不均衡だったりすることがなかったため、この絵がとても気に入りました。絵の中で最も気に入った場所の1つは顔です。すべての面を比例させたいので、修正に最も時間がかかったのが顔だったからです。私はよくキャラクターの美に気にかけています。私にとってそれは私が最も気にかけていることです。これからも絵画を良くするために勉強を続けます。

人物インタビュー①

インタビューの人：お母さん

その人を選んだ理由：日本語にてつだってくれますからお母さんをえらびました。

コメントのやりとり

お母さん:その絵のどんなところが好きですか。

わたし:新しいぬり方をしました。

お母さん:どのキャラが好きですか。

わたし:怖い絵とか、くらいキャラがすきです。

お母さん:好きなキャラのどんなところが好きですか。

わたし:キャラの顔をよくかきます。

お母さん:そのキャラをどのくらいの時間が掛かりますか。

わたし:その絵によります。七時間から十時間までかかる時があります。

わたし：こわい絵をかくのがすきです。

お母さん：かわいい絵を描いてほしいですが、自分オリジナルの絵を描いた方がいいですね。

わたし：これからも好きなスタイルの絵を描きます。

自分の考え：絵を描くことが好きだから、いつも思いついたとき、かきたいときに何時間かけてもいいから、絵を完成します。絵を描く人たちが集まるSNSのアプリに絵を載せています。わりと人気があります。これからも絵をかくつもりです。

人物インタビュー② みえ先生

Entrevista : Mie Yokomizo sensei

Motivo: Escolhi a Mie Sensei porque ela entende português.

インタビュー：横溝みえ先生

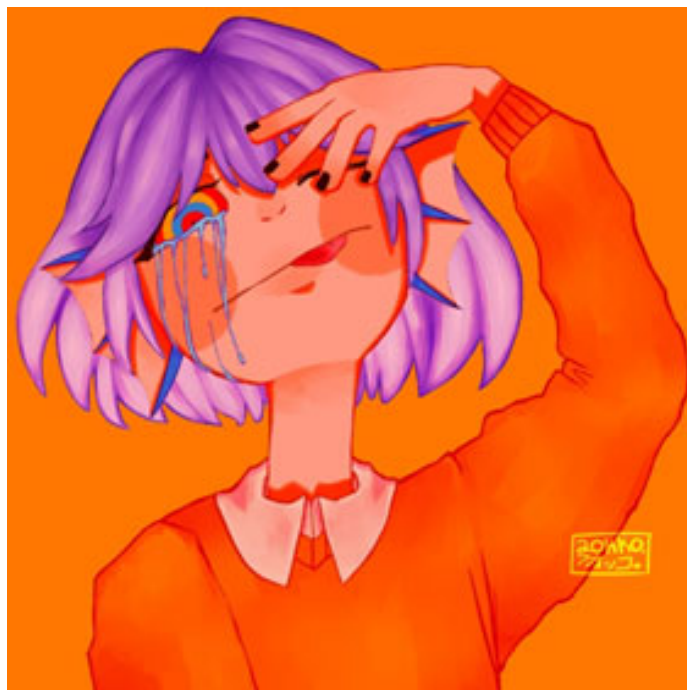
理由：みえ先生はポルトガル語がわかりますから。

Mie Sensei: Qual é o primeiro desenho que você mais gostou?

Eu: Esse aqui.

みえ先生：どの絵が一番好き？

わたし：この絵です。



SOBRE O DESENHO

絵画について

Mie Sensei: Por que você gosta dele?

Eu: Por causa da pintura e a forma como ele ficou, como o cabelo e as cores, pois as cores tem uma harmonia entre si e isso é muito bom. Também como as mãos, pois normalmente elas são bem difíceis de se desenhar, eu realmente tenho um grande orgulho por o ter produzido.

みえ先生： どうしてその絵が好きなの？

わたし： 完成した塗り方と形が気に入りました。女の子の髪の毛とか色とかがハーモニーになっていると思います。手の形もすごく気に入りました。手を描くのはむずかしいことです。わたしはこの絵を描けたことをほこりに思います。

Mie Sensei: Por que a aparência dela é desse jeito?

Eu: A aparência dela é assim por causa de sua estória, onde ela é bem complexa. Ela morreu e se transformou em um espírito fazendo referência a como ela morreu. Infelizmente eu ainda não criei uma estória fixa para a personagem, pois eu quero criar algo bastante complexa e implícito, porque é algo que em meu ponto de vista, criaria um interesse a mais para os leitores do que eles apenas lerem algo e saberem de cara o que ocorre dentro da estória, eu gosto que todos tenham um ponto de vista sobre os acontecimentos, pelo o motivo de eu achar entediante demais em colocar todas as conclusões no final na estória sem deixar um espaço para o próprio leitor interpretar de sua maneira.

みえ先生： なぜ彼女はそんな感じなの？

わたし： 彼女が泣いているのはあるストーリーの人物だからです。実は彼女は死んでいるのです。そして、魂になりました。その絵は彼女が死んだ時のことです。残念ながら、まだキャラクターのストーリーを決めていません。とても複雑で、暗黙的なものを作成したいからです。なぜなら、読者がすぐに何が起こるのかわかる物語よりも、読者の興味を引くものを書きたいです。物語の中で、何が起こるのか、読者が自分の考えで解決するスペースを残さずに、物語の最後にすべての結論を置くのは退屈すぎると思います。わたしは読者自身が自分の視点を持たせるのが好きです。

ESTILO DE DESENHO/GÊNERO

絵画のスタイル/ジェンダー

Mie Sensei: Por que você não gosta de desenhar protagonistas e acham chatos?

みえ先生：どうしてヒーローを描くのがいやなの？

Eu: Porque eu não gosto quando foca em apenas em um personagem, desse jeito vão dar mais atenção a apenas um personagem do que os outros personagens. Porque eu quero que o leitor foque em todos os personagens, pois eles podem ter muitas vezes conexões com a estória contada, porém isso muitas vezes fica escondido e o leitor nem percebe, por esse motivo eu criei uma estória onde todos os personagens são os protagonistas de suas vidas e como elas irão acabar.

1つのキャラクターだけに焦点を合わせるのは好きじゃないです。そうすると、他のキャラクターよりも1つのキャラクターだけに注意を向けます。読者にすべてのキャラクターに視点を向けてもらいたいのです。多くの物語キャラクターは目立たないので、読者も気づかないことが多いです。わたしはすべてのキャラクターが主人公であり、彼ら自身が自分の人生を決められる物語を作成しました。

Mie Sensei: Qual é o motivo de você gostar de terror?

Eu: Pois é um gênero que eu me sinto mais confortável, eu consigo criar mais conteúdo, estória, mistérios, e muito mais. Quando se trata de algo leve, mais romântico e fofinho, eu não consigo criar nada pois não é o meu estilo e não me sinto confortável criando esse tipo de conteúdo, pois em minha humilde opinião eu acho ele muito clichê e repetitivo, quando eu digo repetitivo é porque não tem muito o que se produzir com ele, já o com o terror não, eu consigo criar muito mistério, estórias, enigmas, emoção e consigo criar uma obra mais realística também.

みえ先生：どうしてこわい絵を描くの好きなの？

わたし：私が最も楽に描けるジャンルだからです。より多くのコンテンツ、ストーリー、ミステリーなどを作成できます。軽くてロマンティックでキュートなものになると、自分のスタイルではなく、キュートなコンテンツを描くのが苦手なため、そんな絵は描きたくないです。謙虚な意見では、非常に決まり文句で反復的だと思います。こわい絵には私の多くの謎、物語、感情を描くことができ、より現実的な作品が作成できます。

Mie Sensei: Por que você quer desenhar apenas esse estilo ao invés dos outros estilos que os outros pedem para você desenhar?

Eu: Eu me sinto bastante confortável, já os outros eu me sinto muito desconfortável já que eles não são de minha especialidade, já que com o terror eu tenho mais criatividade e produção. O motivo é simples, eu me sinto mais produtiva com o gênero de terror mais que o comum, enquanto romance, comédia, drama, eu tenho um pouco de dificuldade de produzir algo criativo e relevante.

みえ先生： どうして周りの人から頼まれるスタイルよりも、そのスタイルだけを描きたいですか。

わたし： わたしがもっと安心して描けるジャンルだからです。他のジャンルはわたしの専門じゃないです。恐怖だと、たくさんの創造性とクリエイティブを働かせることができます。理由はかんたんです。ホラーのジャンルのほうがクリエイティブに働けると感じます。たとえば、ロマンチック、コメディ、ドラマではあまり創造性が浮かばないので、描くことが少し難しいと感じます。

Mie Sensei: O que é pintura realística/realismo?

Eu: Quando um artista cria algo que aparenta ser mais real, que é composto de sombras, luzes, formas, com muitas cores, isso tudo pode ajudar a criar algo mais 3D, mais real. Já se tratando de Realismo, é quando um artista produz uma obra relacionado ao trabalho rural ou urbano na vida cotidiana que vai marcar até uma certa época.

みえ先生： どんな感じがリアリストリアリズムな絵なの？

アーティストが、影、光、形、色々な色を使ってよりリアルに見えるものを作成する場合、3Dに近い、よりリアルなものを作成するのに役立ちます。リアリズムたとえば、アーティストが日常生活の中で、田舎や都会の風景の作品を描くことです。その日常生活がその時期を表します。

MINHA RELAÇÃO AO DESENHO

描いているものに対して

Mie Sensei: Por que é importante o seu tempo de desenhar?

Eu: Pois é um momento onde eu estudo a arte, tento melhorar o meu traço, pintura, e muito mais. Eu estudo a arte já faz 6 anos, porém os últimos anos eu não levava muito a sério os estudos, apenas esse ano que eu estou focando mais na arte. Não apenas isso como eu quero satisfazer os outros, pois isso ajuda a você ganhar reconhecimento, como fazer comissões, fanarts, trabalhar em uma equipe, criar design de jogos, mangá, e muito mais, isso tudo ajuda a você crescer e evoluir,

chegando cada vez mais perto de seu objetivo, por isso eu me importo com o meu tempo de estudar a arte e expor minhas ideias cada vez mais.

みえ先生：描く時間は大事な時間と言いましたね。それはどうして？

わたし：アートを勉強する時間だからです。今、ラインやペインティングなどが描くのをうまく描けるように勉強しています。私は6年間アートを勉強してきましたが、ここ数年はあまり真剣に勉強していませんでした。今年はアートのことをもっと真剣に勉強するようになりました。

それだけでなく、周りの人の注文に答えられるためにも勉強しています。そうすれば、コミッション、ファンアート、チームでの作業、ゲームデザイン、マンガの作成など、認知度を高めるのに役に立つと思います。わたしが成長できて、目標に近づくことができると思います。それで、アートを勉強したり、アイデアを公開したりする時間を気にしています。

Mie Sensei: Por que você quer aprender mais?

Eu: Porque eu acho que eu tenho muito a melhorar até chegar no nível que eu me sinta satisfeita, também quero aprender mais sobre pintura realística, anatomia e muito mais. Pois creio eu, o quanto mais estudar e praticar algo que você goste, melhor fica, e isso pode encadear várias oportunidades no futuro, como fazer colaborações com grandes profissionais, viajar para outros lugares e obter um ótimo trabalho.

みえ先生：どうしてもっと絵について習いたいの？

わたし：自分が満足できるレベルを描きたいので、リアルな絵画や解剖学などについてもっと学びたいと思います。好きなことを勉強して、実践すればするほど、それはより良くなり、それで有名な専門家のコラボしたり、旅行したり、そして素晴らしい仕事を得ることなど、将来、いくつかの機会を結びつけることができると信じています。

Mie Sensei: A sua personalidade tem relação com as suas obras?

Eu: Eu diria que minhas produções têm mais conexões com as minhas mudanças constantes de humor, também como doenças, transtornos, traumas, etc ... Porém isso é um pouco raro, pois elas têm mais relações com músicas, histórias e casos reais, porque isso deixa mais vivo a obra que eu produzo.

みえ先生：アンナちゃんの作品はアンナちゃんの性格と何か関係あるの？

わたし：わたしの作品はわたしの気分の変化、トラウマなどに関係あると思います。

しかし、それはめずらしいことです。だいたい、歌、物語、そして実際の事例とより多くの関係を持っています。それは私が制作する作品をより生き生きとさせるからです。

Mie Sensei: Esse desenho demonstra os seus sentimentos?

Eu: Eu tenho uma certa dificuldade de expressar meus sentimentos em uma obra, até porque eu não sou amador, eu vou mais na base do pensamento, estória dos personagens. Como eu mesma disse, os desenhos tem mais como objetivo de mostrar marcos histórico e casos não solucionados, como assassinatos, desaparecimentos, também lendas urbanas e folclore, pois é algo que eu gosto bastante de ver e ler.

みえ先生：この絵はアンナちゃんを感じていることに関係あるの？

わたし：作品の中で自分の気持ちを表現することを少し難しく感じます。アマチュアじゃないので、キャラクターの考え、物語に沿って描きます。以前に言ったように、絵は、殺人、失踪、都市の伝説、民俗学など、歴史的なマークや未解決の事件を示すことを目的としています。わたしはそんな物語を読んだり、観たりすることが好きですから。

全体のまとめ

Então podemos concluir que eu posso ter um grande futuro como artista por causa de minhas habilidades, mas eu ainda não posso ter absoluta certeza pois eu tenho chances de largar todo o meu conhecimento sobre a arte e começar a estudar algo novo por certos motivos, como falta de reconhecimento, motivação, criatividade e várias outras possibilidades.

Atualmente eu apenas quero estudar para ter grandes oportunidades futuramente, pois sei que isso irá me trazer grandes benefícios com as habilidades que eu conquistei durante esses anos.

私のスキルのおかげでアーティストとして大きな将来がある可能性があると思いますが、まだ本当にアートの道を歩むかわかりません。もしかしたら、わたしのアートを認めることが少なかったり、または、動機、創造性を失ったりすれば、新しいことを勉強し始めることもありえません。

将来、人生に大きなチャンスがあるために絵画の勉強にがんばっています。長い間、たくさん勉強して、スキルアップできたら、大きなチャンスが訪れると思います。

あとがき

Eu tenho que confessar que eu não queria muito participar desse projeto, porque eu não sou acostumada a me socializar com pessoas virtualmente, eu fiquei bastante insegura, ainda mais que foi a minha Mãe que me pediu para participar então, como eu sabia que mesmo eu recusando iria participar, eu comecei a participar. No começo eu estava bem insegura, mas depois eu comecei a me acostumar com as reuniões e as redações, eu achei até divertido, pois é um momento que você pode expressar, procurar melhorar, essas coisas. Ainda mais que tem uns minutinhos extras para conversar com os outros em outra sala virtual. Então eu posso dizer que eu me diverti com tudo isso, pois é algo em que eu pude aproveitar o momento de eu me expressar.

実は、私はこのプロジェクトに参加したくなかったことを言わなければなりません。私はインターネットで他の人とのつき合いに慣れていないので、とても不安でした。でも、お母さんからすすめられていたので、参加し始めました。最初はとても不安でしたが、先生との話し合いや作文を書くことに慣れてきて、自分の考えを表現したり、自分を直したりすることができる瞬間があって、とても楽しくなりました。さらに、別の部屋で他の人たちとチャットするための数分の時間はもっと楽しかったです。自分の考えを表現する瞬間を楽しむことができたので、とても楽しかったと言えます。

あとがき

終わりも始めも全て良し善し。よーしよし！

横溝みえ

ガチガチにこわばった顔が、いっぱい並んでいた最初の日は、「オンラインでも雰囲気って伝わるのだ」とわかるほどみんな戸惑ったり緊張していたと思います。それも、こうして終わってみると、なかなかできない「貴重な経験」で、みんながこの2020年に自分の家で体験できた、実は「ものすごく成長するきっかけ」なのではないかなと思っています。最初の特大大ドキドキがあったからこそ、今の満足感につながっているのかもしれないですね。「高く飛ぶには低くしゃがむ。」そんなことに似ているのかなとも思います。

細川先生の質問に「何？何？どういうことかな？私は僕はどうしてそう思うのかな？なんでかな？」ハテナいっぱいのおみんなが、一生懸命答えを探して、自分を見つめたこと。家族や友達と話したり、仲間と笑ったりしたこと。考えてることがわからなくなったり、何かに気がついたりして、苦しくなったり、暗くなったり、もう嫌だなと思ったりしたかもしれないけれど、そのモヤモヤや重い気持ちがあったからこそ、全部の出来事が今の自分を認める気持ちにつながっていると思います。たくさんの「ハテナ？」に出会えてよかったですね。まだそれが続いている人も、新しい疑問が出てきた人もそれが「生きている」ってことなのかもしれないですね。

アンナさんも、エリキさんも、さゆみさんも、ゆかりさんも、ルイザさんも、本当に素晴らしく素直な「がんばり」を見せてくれてありがとうございます。「私はブラジルで日本語の先生をされていてよかったなあ。」そう思うことができ、みなさんに心から感謝しています。

細川先生、松田先生、渡辺先生、この時期に、このような機会と素晴らしい出会いをくださり、本当にありがとうございます。やってみること、続けること、信じることは教師として、人間として大事なことだと再確認できました。感謝しかありません。

ありがとうございました。

心の中に『困難を乗り越える力』がある

渡辺久洋

当校の授業においても、自分を見つめ直したり、周りの仲間のことについて考えさせたりする活動を行うことがあるが、この活動のようにここまで自分の心の中心に向かってとことん掘り下げていくまでには至らなかった。

今回見学者という立場で外から見ていると、日本語を学習している子供たちがこの活動に取り組むにあたっては、私が自校で行うのと比べ、いくつものハードルがあったのではないかと思う。

まず、細川先生との対話を（また、インタビューでも）日本語で行ったこと。普段聞きなれている日本語学校の教師との会話とは違い、内容も言葉も話し方もかなり異なる日本人との日本語でのやり取りは、日本語学習者としては難しいものである。

次に、初めて会う人達と話し合ったこと。初対面の人とすぐに打ち解け普通に会話ができるようになるまでには、通常でも時間がかかるものであるが、今回はそれをオンラインで行い、かつ話すテーマも決まっていたので、心理的にハードルがあり、慣れるまでにより時間がかかったのではないだろうか。

また、ある事柄について、深く考えること。思うこと・感じることは誰にでもあるが、それは事の本質の中でも浅く表面的な事柄でとどまることが多く、しかし今回はそこからさらに掘って掘って掘り下げて、できるだけ心の深いところまで意識をたどり着かせること。これは大人でもかなり難しい作業であるが、それをこの年代の子供たちが行うのは、恐らく通常では体験できない未知の体験で、この一連の活動の中にある様々な難しい面の中でも最大のものあったと推察するが、どうだっただろうか。

そして、その感じた事・思ったことを言語化すること。出来事を言葉で表すのはそう難しくはないが、気持ちや頭・心にあることを正確かつ適切に言葉にし表現するのは非常に難しいことである。それは母国語ですら難しいものだが、それを現在勉強中の日本語で表現するのであるから、この作業も非常に困難で頭を悩ませたに違いない。

このような多くの困難を含んだ活動を終えて、この文集には最終的な動機文や考えが書かれている。最初に書いたものと比べれば、もちろん大きな変化の跡が見られるのだが、では、彼らの心の奥底がどのように変わったのか？実際のところはそれは本人にしかわからないものであり、本人ですら正確には理解できていないのかもしれない。ただ確かなことは、この5人は他の子供たちが経験していない今回の一連の活動により、それぞれの内面の深いところに何かしらの影響や変化を与えたことである。その過程で、精神的にマイナスになってしまったり悩んでしまったりした人がいるかもしれない。しかし、そこから逃げずに勇気を出して、自分でしっかりと直視して考える事ができたのは、今後の人生で必ずプラスに働くであろうし、動機文や発言や様子の変化の変遷を外からずっと見てきた身としては、きっとそうなるであろうと強く感じさせられた。

最後に、杉野ルイザ、百合ゆかり、井伊さゆみ、河内エリキ、河内アンナ、皆最後まで本当によく頑張りました。渡辺先生は、「土曜日の夜に休まずに参加して、毎回与えられる難しい課題もしっかりとこなしてきた皆は本当にすごいなあ」と大きなリスペクトを感じるとともに、とても感心しています。今終わってみて、皆が何を思っているかはわからないけど、これだけ言わせてください。

「この活動を完走した“自分にもっともっと自信を持ってね！”今はまだまだ可能性のかたまりで、“自分の心次第で”、いつでもどのようなにも変われるし、色々な可能性を自分で実現させることができるんだから！」

細川先生、松田先生、大変お疲れ様でした。厚く感謝申し上げます。

こたえは自分の中から「掘って」くる？！

松田真希子

7週間本当におつかれさまでした！

みなさんよくがんばりました！

いつも学校で勉強しているみなさん、こたえはいつも外からやってくると思っていませんか？親や先生や専門家が答えをもっていると思っていませんか？そしていろいろな「こたえ」という名の情報を与えられて食べさせられて消化不良になっていませんか。自分は一体どう思うのか、何がしたいのか、どうやって生きていきたいのかが見えなくなっていないですか。

今回のレッスンは、自分の内側の声に耳を澄まするレッスンだったかもしれません。心の奥底から聞こえるかすかな声、、、それは細いロープのようなもので絡まっていたり、深さもわからなくて、、、。それを友だちや大人といっしょによいしょ、よいしょと芋を掘るようにひっぱりだすような作業だったかもしれません。

そしてそれを自分で見つけて、外側の世界に結ぶ作業だったかもしれません。

私は、みなさんが引っ張り出したロープの先についていたおもを、少し見せてもらえたように思います。

人と豊かにつながりたい、幸せになりたい、世界を表現したい、武道の道を究めたい、、、とてもキラキラしていて素敵だと思います。

それを忘れないで、大切にして、自分でよく考えて、自分で決めて、自分で生きる人生をいきいってください。

ことばの勉強は新しい世界を見つけるために、穴を掘ることと似ているかもしれません。前を向いてスコップで土を掘る作業をしても、自分が何をやっているかわかりません。向こうの世界とつながって、新しい世界が開けたとき、そして後ろを向いたときに自分のした大きい仕事に気づくでしょう。

対話は、穴を掘るスコップかもしれません。

対話をぜひ楽しんで、たくさん対話して、いろんなところを掘って、モグラのようにたくさん地下帝国をつくってください^^



SEP-OCT,2020

CLD-ONLINE, BRASIL+JAPAN